

幼稚園だより

令和5年5月31日
墨田区立八広幼稚園
園長 金澤 里美



—6月号—

親しみをもって関わる

園長 金澤 里美

5月の連休明けからは、4歳児うさぎ組が14時降園(通常保育)となり、子供たちの園生活も軌道にのってきました。うさぎ組の子供たちは、自分の力でできることが増え、興味のある遊びに進んで関わる姿が見られます。友達と同じものをつくったり、身に付けたり、同じ動きをしたりすることがとても楽しい時期です。また、ぞう組さんは、誰かのイメージから始まり、どんなものがあるといいか、どうやったら楽しくなるか考え必要な物をつくる姿、「次はこうしたいな」と、また新たなアイデアを考え広げていく姿があります。

今年度になってうれしいのは、うさぎ組、ぞう組と一緒に活動できる機会が増えたこと、学級別での実施となっていた園庭開放や親子遊びの会なども全員で行えるようになったことです。やはり関わる機会が増えると顔見知りになるのも早く、最近では、年少児の方から「ぞう組さん、何してるの?」と話し掛ける姿、年長児も名前を覚えて「○○ちゃん、来て!」と誘う姿が見られます。互いの存在を知り、親しみをもって関わるようになったな、と思っていたら、それだけではなく、互いのクラスが何をして遊んでいた、何をつくっていたということや、この子はどんな遊びが好き、好きなものはこれ、得意なことは…ということもいつの間にかキャッチしていることに驚かされます。八広幼稚園は少人数でもあることから、これからはより異学年の交流の機会を大切にしたいと考えています。また、「和翔苑(地域の老人ホーム)訪問」「八広認定こども園との交流」の機会も数年ぶりに復活します。園外の様々な人との関わるの機会も、子供たちにとって大きな学びになることを期待しています。

教師は、互いの遊びの様子が伝わるよう、また、刺激を受け合えるよう、保育の計画や環境構成・援助をその都度見直し、工夫しています。そのことによる子供たちの育ちを、6月の幼稚園公開、上映会でもお伝えすることができるようにしていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

墨田区立幼稚園の紹介動画(4月にケーブルテレビで放送されたもの)を園のホームページよりご覧いただけます。



八広幼稚園ホームページ

<https://www.sumida.ed.jp/yahiroyo/index.html>

【6月のねらい】

うさぎ組

- ・同じ場にいる教師や友達と遊ぶことを楽しみながら、自分の思いを出す。
- ・皆と一緒に活動する楽しさを感じる。

ぞう組

- ・自分なりにめあてをもって繰り返し取り組む楽しさを味わう。
- ・栽培物や飼育物に興味・関心をもち、発見したことを伝え合う。